

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)統合新病院整備工事 職員宿舎・保育所棟整備工事	階数	地上7F
建設地	伊丹市昆陽池1丁目99-1,98-1,100	構造	S造
用途地域	第2種中高層住居地域、第2種住居地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650時間/年(想定値)
建物用途	学校,集合住宅,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2022年3月2日
敷地面積	1324.21 m ²	作成者	株式会社浦野設計
建築面積	562.58 m ²	確認日	2022年3月2日
延床面積	2896.58 m ²	確認者	株式会社浦野設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 91%

③ 上記+②以外の: 91%

④ 上記+: 91%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
統合新病院を支える施設として、周辺環境や統合新病院との調和を目指しました。エネルギーを新病院と共用することにより、エネルギーの効率的な運用に配慮しています。災害時においても新病院からエネルギー供給を受けることで、建物機能を維持し、職員等の利用者を支援する施設である。		なし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・遮熱性能の高い建材を採用することで、室内温熱環境へ配慮する。	・災害時、統合新病院からエネルギー供給を受けることで、設備機器の機能維持を図り、建物の信頼性の向上に配慮する。	・病院の外壁や地域特性に配慮した白色の外壁の採用し、地域性に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・利用時間が異なる用途が集まる複合施設のため、用途毎に適した設備計画により、効率的な運用を行う。	・節水型機器の採用により、水資源保護に配慮している。 ・リサイクル材や再利用可能なユニット部材の採用等により、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	・新病院と合わせて敷地全体で雨水流出抑制槽を設置。敷地外への雨水流出を抑え地域に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される